

生涯教育研修活動報告書

生理検査・臨床化学検査研究班合同

- 1 実施日時：2025 年 6 月 19 日 19 時 00 分～20 時 00 分
- 2 会 場：Web 開催 教科・点数：基礎教科－20 点
- 3 主 題：苦手意識をなくそう！血液ガス検査の基本
- 4 講 師：平尾 優太（ラジオメーター株式会社）
- 5 協 賛：なし
- 6 参加人数：会員 147 名 賛助会員 1 名 非会員 0 名
- 7 出席した研究班班員：
（生理機能検査研究班）南雲涼太、新井雅人、松平悠、島内一輝、草間冬子
（臨床化学検査研究班）北川裕太郎、永井謙一、田中満里奈、河野邊和弘、関根梢恵

8 研修内容の概要・感想など

今回、生理機能検査研究班・臨床化学検査研究班の合同研修会として「苦手意識をなくそう！血液ガス検査の基本」をテーマに平尾氏を講師に開催した。

講演では、まず血液ガスの臨床的意義から始まり、 $p\text{CO}_2$ 、 $p\text{O}_2$ など血液ガスの代表的な検査項目の解説を交えながら換気や酸塩基平衡など呼吸生理に関する事項まで幅広く解説された。人体の pH は 7.4 と一定に保たれている。その理由として人体では pH 変動に対し炭酸-重炭酸系などの様々な緩衝作用が働くからであると解説されていた。この炭酸-重炭酸系緩衝作用の理解が血液ガス検査を理解するうえで最も重要であるが、その仕組みは複雑で難解なところが多く、血液ガスに苦手意識をもつ大きな理由の 1 つであると思う。今回の講演では図などを交えながら、それらのことがわかりやすく解説され入門編にふさわしい内容であった。また、後半には Tic-Tac-Toe 法を用いた簡単な血液ガス検査のデータの読み方を実際の数値を用いた演習形式で学習し、検体の取り扱い方の解説もあり今すぐにでもルーチンで応用できそうな内容であった。

血液ガス検査に苦手意識をもつ技師は多く、研修会の需要は高いと思われる。しか

し、埼玉県で研修会が開かれる頻度は少なく、あっても初心者向けの研修会がないというのが現状である。そんな中、今回の研修会では県外からも多くの参加があり需要の高さを認識することが出来た。これをきっかけに苦手意識を克服し、少しでも血液ガスに興味を持つ技師が増えることを期待したい。

提出日：2025 年 7 月 14 日

文責：新井雅人